

心筋焼灼術(アブレーション)を受けられる患者様へ(入退院診療計画書)

患者ID

様

循-20.17-1

年 月 日

病名 発作性心房細動・心房細動

症状

入院病日経過	入院(治療前日)	治療当日	治療後1日目	退院日	退 院 療 養 計 画 書
月 日	/	/	/	/	退 院 日 (予定)
目 標	心筋焼灼術について理解ができる	不安や痛みを表出し安静を守る事ができる	合併症が起きず日常生活の知識を身につけ退院できる		月 日
指導・説明	・主治医より説明があります。 (ご家族も一緒に) ・病棟看護師より説明があります。 《準備するもの》 ・オムツ 1枚、ストロー又はストロー付きコップ 	《治療前》 ・治療前1食は禁食、治療後1食はおにぎりになります。 ・禁食時の薬は少量の水で飲んで下さい。 ・医師の指示で糖尿病薬とインスリン注射、抗凝固薬が止まることがあります。 ・冠血管拡張剤テープを腕に貼ります。 ・血圧、脈拍、体温を測定します。 ・点滴を開始し、尿管を入れます。 ・穿刺部(両足の付け根)を除毛し、前貼りをします。 ・動脈触知部位(足の甲)に印を付けます。 ・弾性ストッキングをはきます。 ・寝衣は全て脱ぎ長寝巻をかけます。 ・貴金属、入れ歯等、身につけている物をすべて外します。 ・1階の血管造影室へベッドで行きます。 留置点 ・治療中・治療後の安静中に胸部症状がありましたらすぐに知らせて下さい。	・退院後の日常生活や再診日について看護師から説明があります。 	☐ 当院当科外来で通院治療を行います。 ☐ 他院 ()で通院治療を続けます。 ☐ その他	
	・口腔外科の診察があります。 ・栄養士より食事指導があります。 特別な栄養管理の必要性 (有)・無		・40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的な機能評価を行う場合があります。		
食事	・塩分やカロリーが制限された食事になります。   ・経食道心エコー検査を実施する場合は昼食は禁止です。		・制限食が続きます。  	・規則正しい通院 ・塩分制限 ☐ その他	
点滴注射内服薬	・内服薬やインスリン注射、点滴の針を入れ当日お薬手帳を持参しに備えます。 ・看護師に渡して下さい。 ・医師の指示により中止になる薬もあります。		・医師の指示で、内服薬の調整が行われることもあります。 ・薬剤師より内服薬の説明があります。  	保健医療サービス又は福祉サービス	
検査活動処置	・心電図の機械を付けます。  ・状況に応じて経食道心エコー検査があります。	《治療後》 ・血圧、脈拍、体温を測定し、心電図検査を行います。 ・帰室後3時間は絶対安静、その後は朝までベット上安静です。出血を防ぐためにとても大切です。 ・穿刺部は出血を防ぐためベルトで圧迫されています。 ・医師の指示で抗凝固薬を再開します。 	・朝、心電図と採血を行います。 ・穿刺部は医師の診察後ベルト除去します。 ・レントゲン撮影があります。 ・冠血管拡張剤テープを除去します。 ・弾性ストッキングを除去します。 ・尿管を抜き、病棟内を自由に歩くことができます。 ・入浴はできないので、体を拭きます。 	・穿刺部の抜糸を行います。 ・穿刺部を覆ったまま、シャワー浴が可能になります。(入浴は退院後3日目より可能になります。)	
	・血圧・脈拍・体温・体重測定を行います。 ・入浴は可能です。 ☐ ・原則、病院内を自由に歩けます。 ・弾性ストッキングのサイズを合わせます。 		・概算は退院前日に お知らせします。 (※場合によっては概算ができないことがあります。) ・穿刺部の痛みや胸部症状がありましたら看護師に伝えて下さい。	・退院当日に外来棟1階⑤お支払(退院精算)で精算して下さい。(休診日の場合は入院棟1階、28番救急外来受付になります。) ※場合によっては後日清算となることがあります。	
その他	・眠れない時は申し出て下さい。 ・胸部症状がありましたら看護師に伝えて下さい。			その他	

(主治医) 印

旭川赤十字病院 6階みなみ入院フロア

(主治医署名)
※主治医の押印がある場合は不要

主治医以外の担当者 (看護師)
(薬剤師)
(栄養士)